明科いいまちつくろうかい!! 編集・発行

回覧

明科いいまち通信

No. 76

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎71-2000（代表）　／　明科公民館：☎62-4605

令和５年３月 16 日 発行

いいまち通信は、WEBでもご覧いただけます。▶
http://akashina.net/localinfo/newslisi

明科うまいもん巡り

第18回　あかしな農産物加工交流ひろば Ebeya（えべや）

農産物加工と交流のひろば「えべや」です。「えべや」暖かい言葉で、「みんなで一緒に行こうね」という意味です。平成28年8月に組合員により設立され、皆で手をつないで歩いて7年目を迎えました。地域の皆様のご支援ご協力をいただきながら、地産地消の食材を使用し、地域の皆様方の食の安心安全、健康づくりに貢献できますように日々努力を重ねています。

「えべやスタイル」のお弁当

お弁当　季節感を大事にし、旬の素材を使い、目で楽しみ味を楽しみ幸せな気持ちになっていただけましたら何よりです。丁寧に心を込めて「えべやスタイル」のお弁当を作っています。620 円、830円、1,200円の 3 種があり、**希望日の5日前までに5個以上のご予約にて承ります。**地区の催事や家庭の祝い事等にもご要望にお応えします。

おやき　灰焼き風のおやきで、おやきの中身は季節によって変わります。餡の具材として、茄子・野菜ミックスは（年間を通して）野沢菜・筍・切干大根・蕗のとう蕗（ふき）の薹（とう）（季節ごとに）1個 300 円です。

味噌・麹・塩麹　味噌は地元の大豆・米を使用、作り手は 30 年以上という長年の経験からの感覚が発揮されて美味しい味噌が出来上がり好評です。麹は自家製。えべや特製の塩麹は塩分控えめで、調理の仕込み味付けに適しています。仕込み味噌の受注、味噌づくり体験、などを実施しています。

おやき・餅・五平餅

餅・五平餅・ちぎり餅・あられ・りんごおこわ

地域の生産者との協同により、地元のもち米を使用しています。年末のお餅の注文、お歳暮には、白餅・豆餅・草餅・古代米餅を用意しています。

明科ファーマーズ、ハイジの里、その他での外部販売、イベントの際の販売に加えて近々、明科デリシアでの販売のご協力も頂ける運びとなり、一層皆様に味わっていただけると思います。

えべやは農産物の加工と交流のひろばです。交流ひろばの「ほっこりるーむ」では世代を超えた人々が集い交流し、料理教室・体験講座では様々な学びを深め皆さんの豊な生活づくりのお手伝いをしたいと幅広い内容で進めています。どうぞお気軽にお立ちよりください。

塩麹・みそ

あかしな農村物加工交流広場 Ebeya（えべや）

・住所：明科七貴 9334-1　　・0263-88-6275

・営業時間：AM 10:00～PM 4:00　　・定休日：月曜日

明科コラム「明科考古学散歩３」

安曇野市教育委員会　文化課　土屋　和章

前回の「明科考古学散歩２」では、明科支所から北に向かって、国道19号の「明科高校入口」交差点まで歩いてみました。今回は、「明科高校入口」交差点から明北小学校まで散歩してみます。

「明科高校入口」交差点から東に約60m歩くと、そこは潮（うしお）古墳群８号墳（以下、「潮８号墳」と書きます。）です。残念ながら、現地にはそこが古墳であるとわかる痕跡はありませんが、道路と水田の地下には、古墳が埋まっているのです。潮８号墳は、平成17年（2005）の町道拡幅のときに新しく発見された古墳です。発掘調査によって、地表面のすぐ下から直径約15mの円墳が姿を現しました。古墳を取りまく溝の中からは、たくさんの須恵器（すえき）が出土し、この須恵器の特徴から、潮８号墳が７世紀の終わり頃に造られたことがわかりました。最近の研究では、この古墳から出土した須恵器の中に、静岡県の浜名湖周辺の窯で焼かれたものがあることもわかってきました。今から1,500年以上も前に、直線距離で約180kmも離れた生産地から明科まで、食器や壺が運ばれてきていたとは驚きです。

【明科考古学散歩３の地図】

潮８号墳の周辺には古墳が点在しており、潮古墳群と呼ばれています。潮８号墳の北東にある墓地の森には、お経塚（きょうづか）と呼ばれるこんもりとした塚があり、これも古墳ではないかと考えられています。歩みを進めて、お経塚の森を鋭角に左折すると、今度は視線の先の畑の中にぽっこりとした潮５号墳の小ぶりな墳丘が見えます。

【潮８号墳から出土した須恵器】

お経塚の森を背中に、明北小学校を目指して北に歩きます。道中、左手には住宅地、右手には農地が広がっており、とても気持ちのいい散歩道です。この一帯は、新屋（あらや）遺跡や浦田（うらた）遺跡の範囲です。浦田遺跡では、平成28年度に行った調査で地下1.7mという深い場所から、炭のようになった多量の草が含まれる地層が見つかっています。放射性炭素年代測定法という科学分析でこの草の年代を測定したところ、なんと縄文時代晩期（約2,500年前）の草がそのまま土中にパックされていたことが判明しました。このように、土器や石器は出土しなくても、遺跡の土を丁寧に調べることで昔の自然環境や地層の年代がわかることもあります。

そろそろ右手に明北小学校の校庭が見えてきます。明北小学校と明科北認定こども園の一帯は塩田若宮遺跡（しおだわかみや）です。この遺跡のことは、また次の機会に書きたいと思います。

今回の散歩では、潮地区の南から北に向かって約800mの道のりを歩きました。遺跡は地中に埋まって見えないことが多いのですが、潮古墳群のように地表にぽっこりと顔を出している古墳などは、散歩の目印として見つけやすいですね。現代の生活の中に、古墳が上手に取り込まれている景観は、明科の歴史の重みを感じさせてくれます。

あかしなこうみんかんからのおしらせ

明科公民館からのお知らせ

Akashina Kouminkan 明科社区中心 아카시나 공민관

JC 05 5月 May ← 3月 March

新型コロナウイルスの影響により、下記のイベント等は中止・変更となる場合があります。最新情報については、**明科公民館(☎62-4605)**までお問い合わせください。

春休み将棋教室

こどもから大人まで、初心者から上級者まで楽しめる教室です。1 日だけの参加も結構です。

日　時： ３月 23 日(木)24 日(金)
午前 10 時～午後４時
会　場： 明科公民館　講義室
講　師： 安曇野市囲碁・将棋実行委員会
参加費： 無料
申込み： 3月22日(水)までに電話でお申し込みください。
明科公民館 TEL: 62-4605（午前9時～午後5時）

いいまちサロン 第 108 回

陽春コンサート

春の訪れを感じながら、フルートとピアノのしらべをお楽しみください。

日　時： ３月 25 日(土) 午後２時～３時 30 分
会　場： 明科公民館　講堂
奏　者： 藤木　めぐみさん(フルート)
石井　久美子さん(ピアノ)
曲　目： 英雄ポロネーズ(ピアノソロ)、花は咲く　他
参加費： 300 円　高校生以下無料
申込み： 不要

スマホなんでも相談室

スマホの基本的な操作、アプリの使い方などについて、個別に説明します。

日　時： ４月４日(火) 午前 10 時～正午
会　場： 明科公民館　講堂
講　師： 公民館職員
定　員： 15 名(先着順)
参加費： 200 円
持ち物： お使いのスマホ
申込み： 3月 27 日(月)、28 日(火)に電話でお申し込みください。
明科公民館 TEL: 62-4605（午前9時～午後5時）

明科いいまちサロン春のお楽しみ会

地場産ワインと地域食材を楽しむ会

天王原で栽培されているぶどうからワインが作られるまでの動画を視聴しながらワインと食事を楽しみます。

日　時： ４月 14 日(金) 午後５時～８時
場　所： 明科公民館　創作室
参加費： 1,500 円(食事のみは 1,000 円)
定　員： 20 名(先着順)
申込み： 4月3日(月)、4日(火)に電話でお申し込みください。
明科公民館 TEL: 62-4605（午前9時～午後5時）

～春の歌声ひろば～

アコーディオンの演奏にあわせてみんなで懐かしい歌謡曲、童謡、唱歌を歌いましょう。

日　時： ４月 20 日(木) 午後 1 時 30 分～３時
会　場： 明科公民館　講堂
奏　者： 柴田　勲さん
曲　目： 早春賦、北国の春、カチューシャ　他
参加費： 無料
申込み： 不要

明科いいまちサロンでは、２月２３日に明科在住の教育カウンセラーである川名洪良先生をお招きし、「子どもたちに寄り添う」～子どもたちの心の声に耳を傾けて～を開催しました。以下に聴講した感想を掲載いたします。

講演「子どもたちに寄り添う」～子どもたちの心の声に耳を傾けて～（幼児期～少年期）に参加して

明科いいまちつくろうかい!!会員　唐澤 俊英

「公民館」のお話から始まりました。「長野県が公民館数日本一（2015 年文科省）」「明科は公民館設置・活動の先進地だった」こと。明科公民館の歴史からもこうした講演が公民館で行われる意義が理解できました。

川名先生のお話は、子どもたちに寄り添ったカウンセリング・相談の実際をベースにしたものでした。とてもわかりやすく深く考えさせられました。「子どもの行為には意味がある」ととらえ、子どもの心の声に耳を傾け寄り添うことの重要性を痛感しました。

「水を掴(つか)むことはできないが、汲むことはできる。『こころ』を掴むことはできないが汲むことはできる。」が印象的でした。次回は子どもの「思春期」がテーマとのこと。楽しみにしています。

次回は、５月 27 日(土)の開催を予定しています。

明科図書館からのお知らせ

明科図書館令和４年度貸出ベスト７

明科図書館長
青木　泰治

順位	タイトル(サブタイトル)	著者	出版社	貸出回数
1	偉人の花言葉	杉原　梨江子	説話社	３５
2	海坂藩(うなさかはん)に吹く風(藤沢周平を読む)	湯川　豊	文藝春秋	２８
3	石牟礼道子(いしむれみちこ)対談集(魂の言葉を紡ぐ)	石牟礼　道子	河出書房新社	１３
4	もうだまされない近藤誠の「女性の医学」	近藤　誠	集英社	１１
5	カケラ	湊　かなえ	集英社	１０
	地図から信州が見えてくる	今尾　恵介	信濃毎日新聞社	
6	清明(隠蔽捜査)	今野　敏	新潮社	９
	世界の廃墟島(美しく孤独な場所)	ｸﾗｳﾃﾞｨｱ･ﾏｰﾃｨﾝ	日経ﾅｼｮﾅﾙｼﾞｵｸﾞﾗﾌｨｯｸ	
	食品の裏側(１)（みんな大好きな食品添加物）	安部　司	東洋経済新報社	
7	読書からはじまる	長田　弘	日本放送出版協会	８
	ｱﾙﾌﾟｽ・ハヶ岳絶景ﾄﾚｯｷﾝｸﾞ ＢＯＯＫ２０２２		ﾈｺ･ﾊﾟﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞ	
	臨床の砦(青空／凍てつく時／砦／臨床の砦)	夏川　草介	小学館	

８位以下になると同じ貸し出し数の本が何冊もあるので、載せきれません。上は一般書ですが、ちなみに児童書は、圧倒的に『しずくちゃん』が多く、上位を独占している状況です。

明科図書館に来て、いい本を探していってください。

編集後記

・うららかな春の陽ざしが心地よい時期になりました。子どもの頃、縁側で気持良く眠っていたことを思い出します。そういえば、最近新聞のお悔み欄で歳の近い知り合いの人たちをしばしば見かけるようになり、ショックを受けています。日向ぼっこで永眠しないようにもう少しがんばりたいと思います。(や)

・飲食物の季節限定という言葉に弱いです。春限定は特に好きなので、一年中売っていて欲しい気持ちがある反面、その季節でしか味わえない「季節限定」の特別な気分を味わうのが大事なのでしょうね。(な)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい　内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容　住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項・投稿する際は必ず**氏名・住所・連絡先を記載してください**。
・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法　①明科支所（明科中川手 6824-1）へ持ち込む または
②Ｅメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ　明科いいまち通信編集担当（TEL: 71-2000 / 内線 760-113）